

1. 略歴

1996年4月	同志社大学工学部知識工学科入学
2000年3月	同 卒業
2000年4月	同志社大学大学院工学研究科知識工学専攻博士前期課程入学
2002年3月	同 修了
2002年4月	総合研究大学院大学複合科学研究科情報学専攻博士後期課程入学
2005年3月	同 修了
2005年3月	博士（情報学）（総合研究大学院大学）
2005年4月	国立情報学研究所 助手（～2007年3月）
2006年4月	総合研究大学院大学 助手（併任）（～2007年3月）
2007年4月	国立情報学研究所 助教（～2009年10月）
2007年4月	総合研究大学院大学 助教（併任）（～2010年3月）
2009年11月	国立情報学研究所 准教授（～2019年8月）
2010年4月	総合研究大学院大学 准教授（併任）（～2019年8月）
2019年9月	東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

2. 主な研究活動

a 主要業績

(1) 学位論文

『パーソナルネットワークに基づく情報流通支援』総合研究大学院大学, 138p., 2005.3

(2) 単著

『ウェブがわかる本』岩波書店, 179p., 2007.4

(3) 共著

『ウェブらしさを考える本』（大向一輝, 池谷瑠絵）丸善出版, 190p., 2012.4

(4) 論文

「オープンサイエンスと研究データ共有」『心理学評論』Vol.61, No.1, 2018.7, pp.13-21

「オープンデータと学術情報」『映像情報メディア学会誌』Vol.70, No.6, 2016.11, pp.852-856

「CiNiiにおけるメタデータの提供と利活用」『メタデータとウェブサービス』（日本図書館情報学会研究委員会編）勉誠出版, 2016.11, pp.161-180

「学術情報流通とオープンデータ」『情報の科学と技術』Vol.65, No.12, 2015.12, pp.503-508

「オープンデータとクラウドソーシングの親和性: タスク設計と品質管理に関する検討」『情報処理』Vol.56, No.9, 2015.9, pp.880-885

「SNSの歴史」『電子情報通信学会通信ソサイエティマガジン』No.34, 2015.9, pp.70-75

「知識をしるす、さがす: ウェブの理想とセマンティックウェブへの道程」『角川インターネット講座 (8) 検索の新天地』(高野明彦監修) 角川学芸出版, 2015.4, pp.197-225

「学術情報共有プラットフォームとしてのCiNii」『漢字文献情報処理研究』No.15, 2014.10, pp.30-35

「CiNiiのウェブAPI戦略」『情報の科学と技術』Vol.64, No.5, 2014.5, pp.170-174

「オープンデータとLinked Open Data」『情報処理』Vol.54, No.12, 2013.11, pp.1204-1210

「日本におけるオープンデータの進展と展望」『情報管理』Vol.56, No.7, 2013.10, pp.440-447

「Linked Open Dataと学術・文化情報の流通」『デジタル人文学のすすめ』(楊曉捷, 小松和彦, 荒木浩編) 勉誠出版, 2013.8, pp.205-220

「電子書籍化する学術論文: CiNii Articlesの展開を中心に」『情報処理』Vol.53, No.12, 2012.12, pp.1282-1286

「CiNii Articlesのシステムデザインとデータモデル」『情報の科学と技術』Vol.62, No.11, 2012.11, pp.473-477

「ソーシャルグラフ」『映像情報メディア学会誌』Vol.65, No.8, 2011.8, pp.1161-1165

「Community Webプラットフォームの進展と展望」『人工知能学会誌』Vol.26, No.4, 2011.7, pp.399-408

「学術情報サービスのメタデータ・デザイン」『情報の科学と技術』Vol.60, No.12, 2010.12, pp.495-500

- “CiNii: Bringing Linked Data to Japan's Largest Scholarly Search Engine” (I. Ohmukai, H. Takeda) Proceedings of International Conference on Dublin Core and Metadata Applications (DC-2009), 2009.10
<http://dcpapers.dublincore.org/pubs/article/view/966/963>
- 「Community Web プラットフォームのデザイン」(大向一輝, 武田英明)『第 22 回人工知能学会全国大会論文集』2008.6.
<https://doi.org/10.11517/pjsai.JSAI08.0.107.0>
- 「Community Web プラットフォームのユーザエクスペリエンス」(大向一輝, 松尾豊, 松村真宏, 武田英明)『第 21 回人工知能学会全国大会論文集』2007.6 https://doi.org/10.11517/pjsai.JSAI07.0_2F410
- 「Web2.0 と集合知」『情報処理』Vol.47, No.11, 2006.11, pp.1214-1221
- 「SNS の現在と展望—コミュニケーションツールから情報流通の基盤へ—」『情報処理』Vol.47, No.9, 2006.9, pp.993-1000
- 「リアルワールドとしての Web」(大向一輝, 武田英明, 松尾豊)『人工知能学会誌』Vol.21, No.4, 2006.7, pp.403-409.
- 「Community Web プラットフォームの実現に向けて」(大向一輝, 松尾豊, 松村真宏, 武田英明)『第 20 回人工知能学会全国大会論文集』2006.6 <https://doi.org/10.11517/pjsai.JSAI06.0.244.0>
- 「Community Web プラットフォーム」(大向一輝, 松尾豊, 松村真宏, 武田英明)『人工知能学会論文誌』Vol.21, No.3, 2006.3, pp.251-256
- 「Semblog: メタデータを用いた Web コンテンツの再編集・共有プラットフォーム」『赤門マネジメント・レビュー』Vol.4, No.12, 2005.12, pp.649-656
- “A Proposal of Community-based Folksonomy with RDF Metadata” (I. Ohmukai, M. Hamasaki, H. Takeda) Proceedings of Workshop on End User Semantic Web Interaction, Colocated with the Fourth International Semantic Web Conference (ISWC2005), 2005.11. http://ceur-ws.org/Vol-172/enduserSWI_paper12.pdf
- “Metadata-driven Personal Knowledge Publishing” (I. Ohmukai, H. Takeda, K. Numa, M. Hamasaki, S. Adachi) Proceedings of the Third International Semantic Web Conference (ISWC2004), 2004.11, pp.591-604
- “Collaborative Task Scheduling Method based on Social Network Analysis for Cellphone Application” (I. Ohmukai, H. Takeda) Proceedings of the IADIS International Conference of WWW/Internet (ICWI2004), 2004.11, pp.763-770
- 「人間関係ネットワークに基づく情報フィルタリングを用いた協調的タスクスケジューラ」(大向一輝, 武田英明)『電子情報通信学会論文誌』Vol.J87-D1, No.11, 2004.11, pp.1020-1029
- “Personal Knowledge Publishing Suite with Weblog” (I. Ohmukai, H. Takeda, K. Numa, M. Hamasaki, S. Adachi) Proceedings of Workshop on Weblogging Ecosystem, Colocated with the 13th International World Wide Web Conference (WWW2004), 2004.5 <http://www.blogpulse.com/papers/www2004ohmukai.pdf>
- “Social Scheduler: A Proposal of Collaborative Personal Task Management” (I. Ohmukai, H. Takeda) Proceedings of Web Intelligence (WI2003), 2003.10 <https://doi.org/10.1109/WI.2003.1241292>
- “Egocentric Search Method for Authoring Support in Semantic Weblog” (I. Ohmukai, K. Numa, H. Takeda) Proceedings of Workshop on Knowledge Markup and Semantic Annotation (Semannot2003), Colocated with the Second International Conference on Knowledge Capture (K-CAP2003), 2003.10. http://ceur-ws.org/Vol-101/lkki_Ohmukai-et-al.pdf
- “Social Scheduler: A Proposal of the Person-centered Approach for Personal Task Management” (I. Ohmukai, H. Takeda, M. Miki) Proceedings of 2003 Symposium on Applications and the Internet (SAINT2003), 2003.1, pp.234-240
- 「多様かつ曖昧な個人タスクのための管理システムの提案と実装」(大向一輝, 武田英明, 三木光範)『合同エージェンツワークショップ&シンポジウム (JAWS2002) 講演論文集』2002.10, pp.502-509
- 「タスクマネジメントのための知的意思決定支援システム」(大向一輝, 三木光範, 廣安知之)『インタラクション 2002 予稿集』2002.3, pp.33-34
- 「並列分散遺伝的アルゴリズムにおけるハイブリッド生成交叉」(大向一輝, 三木光範, 廣安知之)『日本機械学会第 13 回計算力学講演会論文集』2000.11, pp.299-300

(5) 書評

「「Web らしさ」の科学」『情報管理』Vol.53, No.11, 2011.11, pp.641-644

(6) 記事

「多様化する情報とアーカイブの役割」『現代思想』Vol.46, No.6, 2018.5, pp.68-76

「図書館とデジタルアーカイブ: 相互運用性に関する課題と展望」『図書館雑誌』Vol.111, No.6, 2017. 6, pp.369-372

「オープンデータと図書館」『カレントアウェアネス』No.320, 2014.6, pp.14-16

「CiNii Articles と変わりゆく学術情報流通」『専門図書館』No.262, 2013.11, pp.8-12

「CiNii と Linked Open Data」『専門図書館』No.255, 2012.10, pp.34-39

「ウェブの原理と「壁の中の庭園」」『IT Initiative』Vol.10, 2011.3, pp.24-27

「Google の奇妙さ、ウェブの奇妙さ」『現代思想』 Vol.39, No.1, 2011.1, pp.61-71

「人工知能学会 RSS/iCalendar ファイルの利用法」(神寫敏弘, 大向一輝)『人工知能学会誌』 Vol.21, No.6, 2006.12, pp.732-736

「活字の届く場所—ブログとコミュニケーションの未来」『InterCommunication』 Vol.59, 2006.11, pp.74-79

(7) 共同監訳・共同翻訳

『Linked Data: Web をグローバルなデータ空間にする仕組み』 (*Linked Data: Evolving the Web into a Global Data Space* by T. Heath, C. Bizer, Morgan & Claypool, 2011) (武田英明, 大向一輝, 加藤文彦, 嘉村哲郎, 亀田堯宙, 小出誠二, 深見嘉明, 松村冬子, 南佳孝訳) 近代科学社, 139p., 2013.2

『セマンティック Web プログラミング』 (*Programming the Semantic Web: Build Flexible Applications with Graph Data* by T. Segaran, C. Evans, J. Taylor, O'Reilly Media, 2009) (大向一輝, 加藤文彦, 中尾光輝, 山本泰智監訳, 玉川竜司訳) オライリージャパン, 312p., 2010.6

(8) 大規模デジタル知識基盤開発・運用実績

2015年6月、博士論文検索・提供サービス CiNii Dissertations (～2019年8月)

2011年11月、大学図書館総合目録検索サービス CiNii Books (～2019年8月)

2009年4月、学術論文検索・提供サービス CiNii Articles (～2019年8月)

(9) 共同研究

2015年4月、科学研究費助成事業基盤研究(B)「Linked Open Data 利活用のためのクエリ共有手法に関する研究」研究分担者 研究代表者：濱崎雅弘 (産業技術総合研究所) (～2018年3月)

2013年6月、文部科学省特別経費「生体機能の理解にもとづく災害ストレス支援技術の推進事業」研究代表者：山口昌樹 (岩手大学工学部) (～2016年3月)

2012年4月、科学研究費助成事業基盤研究(A)「インターネットを通じた創発的な創造活動のモデル化と支援に関する研究」連携研究者 研究代表者：武田英明 (国立情報学研究所) (～2016年3月)

2006年4月、科学研究費助成事業若手研究(B)「社会ネットワークの関係構造を利用した情報源の信頼性評価に関する研究」研究代表者 (～2008年3月)

2006年4月、科学研究費助成事業特定領域研究「メタデータの創造的流通に関する研究」研究分担者 研究代表者：武田英明 (国立情報学研究所) (～2011年3月)

2004年4月、科学研究費助成事業特定領域研究「セマンティックウェブコンピューティングのための概念体系の収集と統合」研究分担者 研究代表者：武田英明 (国立情報学研究所) (～2006年3月)

(10) 受賞

2012年6月、人工知能学会 2011年度現場イノベーション賞 金賞「人物検索システムの研究開発および実用化の取り組み」

2004年9月、情報処理推進機構 未踏ソフトウェア創造事業 スーパークリエイター「Semblog: セマンティックウェブ技術を用いたスモールコンテンツの再編集・共有プラットフォーム」

3. 主な社会活動

(1) 非常勤講師

2015年4月、同志社大学大学院総合政策科学研究科 (現在に至る)

2013年9月、岩手大学工学部客員教授 (～2016年3月)

2012年4月、東京大学大学院学際情報学府情報学環 (～2015年9月)

(2) 所属学会・学会委員等

Alliance of Digital Humanities Organizations

Japanese Association for Digital Humanities

情報処理学会

人工知能学会

デジタルアーカイブ学会

2018年9月、Journal of Japanese Association of Digital Humanities Editor (現在に至る)

2016年4月、情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会 運営委員 (現在に至る)

2015年4月、人工知能学会ウェブサイエンス研究会 委員 (現在に至る)

2012年12月、ARG Web インテリジェンスとインタラクション研究会 幹事 (現在に至る)

2012年4月、人工知能学会セマンティックウェブとオントロジー研究会 幹事 (現在に至る)

(3) 会議委員等

2018年10月、The 8th Joint International Semantic Technology Conference (JIST2018) Local Organizing Committee

2016年12月、情報処理学会人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2016」実行委員会 委員

2016年10月、The 15th International Semantic Web Conference (ISWC2016) Local Organizing Vice-chairperson

2014年12月、情報処理学会人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2014」実行委員会 委員

(4) その他委員等

2016年9月、内閣官房IT 総合戦略本部 官民データ活用推進基本計画実行委員会、オープンデータワーキンググループ 構成員（現在に至る）

2015年4月、文化庁メディア芸術データベース検討委員会 委員（現在に至る）

2014年10月、一般社団法人オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構、利活用・普及委員会 委員（現在に至る）

2012年4月、大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議、これからの学術情報システム構築検討委員会 委員（現在に至る）